

基本的な考え方

- 情報を主体的に選択・活用できる能力や情報社会に参画する態度を育成する。
- 情報活用能力の育成を通じて、生涯を通して社会の様々な変化に対応できるための基礎・基本を習得する。
- 教科等における情報教育の環境整備や情報機器類の活用、情報モラル教育の充実を目指す。

学校教育目標

強く 正しく 豊かに
短期の重点目標「豊かな心と健やかな体の育成」

情報教育の目標

- 自分に必要な情報を主体的に収集・選択する力を培うとともに、積極的に発信したり伝えたりできる児童を育成する。

《情報を主体的に選択・活用するための情報活用能力の育成》

児童の実態・教師の願い

- 各学年の発達段階に合わせた指導を進め、コンピュータ操作に慣れている児童が多い。
- ほとんどの家庭でインターネットが接続されており、家庭も含めた情報モラルの向上が必要である。
- 基本的な情報モラルやルールを理解させ、情報社会で生きていくために必要な態度を身に付けさせたい。

各学年の重点目標と目指す児童像

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ○情報に関心をもち、学習したことを楽しみながら伝えることができる子 ○基本的なルールやマナーを考えることができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を集め、相手に分かりやすく伝えることができる子 ○情報社会のルールやマナーについて知り、情報モラルの大切さについて考えることができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な情報を収集・選択して、効果的に伝えることができる子 ○情報社会のルールやマナー、セキュリティについて考え、適切に対応することができる子
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの要素の多い活動を通して情報機器に触れ、コンピュータを使う楽しさを味わう。 ・コンピュータ室の使い方や情報機器の操作上の約束を理解し、守れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の活用を通して、問題解決力や表現力を高め、コンピュータを活用するよさを理解する。 ・具体的な事例をもとに、個人情報の管理の大切さなどを理解し、情報モラルの意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報機器の特性を考えて選択し、情報活用する実践力を高める。 ・メールやインターネットなどの約束を理解し、マナーを守った使い方や適切な対応ができるようにする。 ・著作権の意味を理解し、適切な情報発信ができるようにする。

情報教育の基本方針(ICTの効果的活用の一層の推進)

情報活用の実践力	情報の科学的な理解	情報社会に参画する態度
<p>課題や目的に応じて情報を収集・選択し、自分の考えを加えながら表現できる力を育てる。</p>	<p>情報機器の基本的な技能を身に付け、それらの特性や適切な活用方法を理解できる力を育てる。</p>	<p>情報モラルや著作権について理解し、正しい方法で情報を活用・発信することができる力を育てる。</p>
<p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある情報を集める。 ・様々な表現方法に親しみ、調べたことや伝えたいことをまとめて発表する。 <p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なところから課題に沿った情報を収集する。 ・集めた情報を比較・検討しながら、相手に分かりやすくまとめて発表する。 <p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要な情報機器を活用して情報を収集する。 ・集めた情報から必要な情報を選択する。 ・課題や目的に応じて情報を整理し、相手に伝わるようにまとめて発表する。 	<p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの起動と終了を行う。 ・マウスの操作(クリック・ドラッグ)を行う。 ・描画機能を使って絵を描く。 <p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーボードで日本語入力・ローマ字入力を行う。 ・データの保存や呼び出しをする。 ・インターネットの使い方を知る。 ・デジタルカメラを教師と一緒に使う。 ・印刷の操作方法を知る。 <p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字入力がスムーズにでき、文字サイズの変更やコピーなどの機能を使う。 ・ホームページを検索して必要な情報を収集・活用する。 ・デジタルカメラの画像を活用して発表する。 ・プレゼンテーションソフトを使って発表する。 ・必要に応じて用紙や印刷方法を選び、印刷を行う。 	<p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守ってコンピュータを利用しようとする。 ・正しい情報を伝えようとする。 ・個人情報やむやみに教えるはいけないことを知る。 <p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでは、役立つ情報の他、正しくない情報や危険な情報もあることを知る。 ・文字だけのコミュニケーションは行き違いが起きやすいことを知る。 ・他人の創ったものを使うときは、許可が必要なことを知る。 <p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IDやパスワードについて知る。 ・インターネットの影響力の強さを知り、不確かな情報を発信しないようにする。 ・悪意がある情報や、不適切、不正なサイトへの正しい対処法を知る。 ・相手のことを考えて情報を収集したり、発信したりすることの大切さを知る。(発信することのデメリットも学ぶ)
<p>各教科・総合的な学習の時間等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のために情報機器を適切に活用し、主体的な活動を行う態度を育てよう ・課題や目的に応じて、効果的に表現しようとする態度を育てよう ・情報モラル教育を前授業を実施する。4、5年間で5年間の時間を設ける。 <p>※低学年に親</p>	<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権や個人情報の保護、情報モラルの考え方や責任感を高める。 	<p>特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動、委員会活動、クラブ活動、運動会、文化祭、校外活動、ボランティア活動など、様々な活動を通して、情報機器の活用や発信の大切さや責任感を育てよう

家庭・地域社会・各機関との連携

- 学校ホームページの公開
- 地域素材の教材化
- 中央区インターネット利用規定
- セーフティ教室

校内環境の整備

- 校内規定
- PC及び周辺機器の環境整備
- 視聴覚機器の充実
- 学校ホームページの作成・公開
- デジタルコンテンツの活用
- 個人情報・著作権の保護・管理
- 不正アクセス対策(セキュリティ)
- ガイドラインの作成(教員・児童・保護者向け)
- LAN環境の整備
- 教職員研修の充実(PC・タブレット端末活用技術・コンピュータリテラシーの向上)
- プロジェクトによる黒板投影技術を用いた板書の充実と工夫
- ipadのカメラ機能を活用したリアルタイム情報の表示による効果的な学習の研究
- タブレットのアプリケーションを用いた学習支援ツールの充実
- スクリーン授業による様々な人々との交流活動の充実